

南
シリーズ 健康あるある
湿布剤について

2016

5

vol.43



平成28年度 辞令交付式



平成28年4月1日(金曜日)院内において辞令交付式を行いました。

比嘉真利子副院長により、新規採用職員及び転任者、昇任、再任用者に辞令交付を行い、激励のあいさつを行いました。



平成28年度
新体制紹介



【催し物のご案内】

「ゆんたく会のご案内」

日 時	時 間	場 所
第78回5月24日(火)	午後2時～午後4時	沖縄県立中部病院 第3会議室
第79回6月28日(火)	午後2時～午後4時	沖縄県立中部病院 第3会議室
第80回7月27日(水)	午後2時～午後4時	沖縄県立中部病院 第3会議室
第81回8月23日(火)	午後2時～午後4時	沖縄県立中部病院 第3会議室

【ストレスと上手に付き合おう】
【中部歳時記】

pickup

平成28年度 新体制紹介



院長
本竹 秀光

平成28年4月1日から沖縄県立中部病院長に就任いたしました本竹秀光です。

新たな指導体制のもと中部病院の理念「わたしたちはすべての県民がいつでもどこでも安心して満足できる医療を提供します。(1)患者中心主義(2)社会的貢献(3)チームワーク」を継続し更に発展させる所存ですのでよろしくお願い申しあげます。

さて、終戦直後の極度の医師不足を解消するための事業の一環として始められた中部病院における医師卒後臨床教育は2016年に50周年を迎え、この間研修終了者は1000名を超え、そのうち約65%の医師が県内で地域医療に従事しております。事業の成功は万人が認めるところです。これも単に諸先輩方の血のにじむ努力があったからこそと感謝申し上げます。

沖縄県の医師数は琉球大学医学部の設立も相まって全国平均を超えるようになりました。しか

し本県においても本島中南部に医師が偏在する傾向にあり、離島僻地での医師不足は未だ継続した課題となっております。中部病院の研修終了生が離島へ赴く医療を支えることは、これまで、これからも継続する所存であり、中部病院の使命の柱の一つです。

次に院内に目を転じると、私が研修を受けた30数年前と大きく異なるのは医療を受ける患者さんの高齢化です。医療環境も治す医療から寄り添う医療へと変化し、医療の世代が75歳を迎える2025年には「いかに生きるか」がますます問われます。私たちは職員が一丸となって「患者中心の医療とは」を改めて問い直し、安心して満足できる医療を提供する努力を重ねてまいります。

最後に中部病院から端を発した、たらい回しのない、断らない医療を地域の医療機関と連携を密に地域住民に安心・安全の医療を提供したいと思います。



副院長
比嘉 真利子

4月1日に看護部長との兼務が解かれ、副院長専任を命ぜられました。主に地域連携開拓及び病床管理の責任者の任に就くことになりました。

当院のチーム力で、引き続き救命救急医療を充実させ、高度急性期・急性期病院、地域医療支援病院として機能する診療体制整備に取り組みます。

また、常に「地域に開かれた病院」「診療の質の向上」を目指し、看護職の視点で患者様の生活を見据えたケア提供の体制づくりに努めています。



副院長
篠崎 裕子

この度、4月から副院長に就任しました篠崎裕子と申します。

3月までは、6県立病院と16県立附属診療所を統括する沖縄県病院事業団の県立病院課で医療企画室として主に県立病院の医師の確保の仕事をしていました。中部病院での勤務は6年ぶりとなります。以前は、麻酔科医師として多くの手術に携わっていたために手術室と言った閉鎖的な場所での勤務だったために表に出る機会がほとんどありませんでした。

今回、副院長と言う対外的に重要な職を拝命しまして身の引き締まる思いです。これからも中部病院が更に良い医療を提供できるように、また、地域の情きままに愛される病院を目指して職員と共に頑張っていきたいと思います。

今後ともよろしくお願いします。



副院長
橋口 幹夫

この度、4月より沖縄県立中部病院副院長を拝命いたしました。

私は、中部病院研修医20期で、研修終了後、県立宮古病院、県立八重山病院勤務後、県立中部病院の総合周産期センター産科部長、医療部長を歴任いたしました。

その間、本邦の地域周産期医療崩壊の最中、自ら所属する診療科や離島派遣の存続危機を何度も経験し、今日に至っております。

地域貢献と診療科存続・発展の両輪を稼働させることは、國らずも、地域住民や他医療機関からの信頼とご支援なくして、実現できないことを経験いたしました。公的医療機関のミッションを果たすべく、今後も地域医療に少しでも貢献できますよう微力ながらも誠心誠意努力してまいりたいと存じます。

何卒皆様の御指導御鞭撻を賜りますよう伏してお願い申し上げます。



医療部長
平田 一仁

このたび中部病院医療部長を拝命いたしました、内科(循環器)平田一仁ともうします。

管理者としての経験は浅く、慣れるのに多少の時間を要すると思いますが、皆様のご指導を賜りながら、本竹新院長のもと、自分なりに頑張って参りたいと思います。なにとぞ、よろしくお願い申し上げます。なお外来日は半日減りますが、引き続き、内科医、循環器内科医としても仕事を続ける予定ですので、なにかお役に立てることがありましたらいつでもご連絡ください。



医療部長
小濱 守安

管理職も4月から本竹院長を中心とした新しい体制となりました。昨年4月に医療部長を任命し、本年度も引き続き病院の業務に関わらせていただきます。まず第1に10月の電子カルテ導入という大きなイベントに向けて、つつがなく導入できるよう対応していきます。特に診療録委員会の立場から、医師の皆様には外来カルテのサマリー記載を迅速に行っていただきますようお願い申し上げます。

また4月から、医療安全も担当することになりました。受診された患者皆様へのリスクの予防や軽減だけでなく、医療に伴って発生するリスクへ迅速に対応し、職員の皆様のリスクマネジメントに貢献できるよう努めます。



事務長
仲間 元子

昨年は中部病院事務部長として就任し、地域の皆様からご指導ご鞭撻を賜り成長させていただき、多忙ながらも充実した一年となりました。

今年度は、年度初めから診療報酬改定(改定率は▲0.84%)のマイナス改定の影響についても早急に精査・対応・調整を進め、10月には電子カルテ移換を控えておりますので、院内外の関係者各位には更にご協力を申し上げる年になると思います。

「地域の急性期病院としての役割をどのように担わせて頂けるか。」を検索しながら邁進して参ります。

今年度もよろしくお願い致します。



看護部長
吉村 邦枝

地域、職員のみなさまへ

平成28年4月看護部長に就任した吉村邦枝です。

今年度は、看護師の副院長も誕生し看護部は新たな体制となりました。これまで以上にスタッフの育成に励み、看護サービスの向上と質の高い看護の提供を目指して努力いたします。

患者さんの早期回復を支え、常に丁寧で安全、安心できる看護の提供を心がけおります。そのためにも、看護職がいきいきとやりがいを持って働く職場環境を整えることも大切なことと考えておりますので、WL B推進も継続し、働きやすい職場作りと地域に貢献できる看護部にしたいと思います。

今後ともどうぞよろしくお願い致します。

ストレスと上手に付き合おう

「労働安全衛生法」の改正に伴い、平成27年12月より「ストレスチェック制度」が開始されました。

当院も、平成28年8月の実施に向け、準備を進めているところです。

ところで、みなさんは普段「ストレス」とって感じていますか？

厚生労働省の調査によると、働く人の約6割はストレスを感じながら仕事をしているのだそうです。

職場には仕事の量や質、対人関係をはじめ、さまざまな要因がストレスとなりうることが分かっています。

また、ストレスは心・身体・行動に反応し、さまざまな症状を引き起します。

忙しい毎日ですが、時には自分の生活環境を振り返り、ストレスへの気づき、またストレスを上手に対処するための方法を知ることが大切ですね。

ここで、ストレスの解消法について、いくつか紹介させていただきます。

ご自身に合ったストレス解消方法を探してみるのもいいですね。

1. 足湯
血行をよくして心と体をリラックスさせる。
自律神経を整える。

2. 腹式呼吸

3. 睡眠

4. 日光浴
汗を流してリフレッシュ!
太陽は心と体の栄養。日向ぼっこでのんびりくつろぐ。

5. 運動

6. 買物
たまには自分へプレゼント。

Illustrations include a smiling sun, a woman shopping, a person sleeping in a bed with flower patterns, a person exercising, and two people swimming underwater.

湿布剤について

健康 あるある

高田謙

貼付剤について

貼付剤は文字どおり、皮膚に貼付する製剤です。貼付は慣用的に「てんる」とも読みますが、正しくは「ちょうる」です。貼付剤は布やプラスチックフィルムに有効成分と基剤の混合物を薄く延ばしてある製剤で多くの種類の薬剤が汎用されています。ここでは、腰痛から筋肉痛まで広く使用されている消炎鎮痛薬配合の貼付剤を安全に使うために気を付ける点を述べたいと思います。

貼付剤は文字どおり、皮膚に貼付する製剤です。貼付は慣用的に「てんる」とも読みますが、正しくは「ちょうる」です。貼付剤は布やプラスチックフィルムに有効成分と基剤の混合物を薄く延ばしてある製剤で多くの種類の薬剤が汎用されています。ここでは、腰痛から筋肉痛まで広く使用されている消炎鎮痛薬配合の貼付剤を安全に使うために気を付ける点を述べたいと思います。

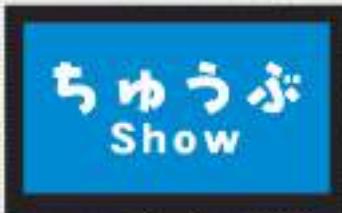
沖縄県立中部病院 薬剤師 川平 浩子



退職者激励会

平成28年3月26日(金)出雲フライダルギヤラリーラビスにて、平成27年度県立中部病院退職者激励会及び転出者送別会を開催しました。

今回定年退職者は10名、定期人事異動で他の県立病院等への異動は75名、そして35名の研修医の先生方が臨床研修を終了しました。皆様、今後の活躍を期待しています。



「ちゅうぶshow」では中部病院ならではの取り組みを二つ紹介します。



中部歳時記

(広報 玉城)

「ゆいちゅうぶ」が再広報となりまして、早3年目を迎え、毎年この時期はトップが代わり紹介号となっています。広報委員は当初のメンバーもまだ残っており、毎号原稿を書き集めるのに必死ですが、特に表紙の写真は当院の話題を提供するモットーとしているので、アンテナを張り巡らしていますよ。P子の4コマ漫画は職員の職業によるノンフィクション漫画です。この作品を気に入った方、感想を募集していますので、どうぞ送ってくださいませ。今後もよろしくお願いいたします。

沖縄県立中部病院へのお問合せ

〒904-2293 沖縄県うるま市宮里281
TEL: 098-973-4111(代)

FAX:[代表] 098-973-2703
[地域連携室] 098-982-6568

沖縄県立中部病院

検索

ホームページ <http://www.hosp.pref.okinawa.jp/chubu/>

